

幼児センター だより みらい

発行日 令和6年2月20日

ひとつ壁を乗り越えひとつ大人に近づく

所長 三浦 卓也

戦国時代のエピソードを次に紹介します。

駿河の国の今川義元は、松平家の竹千代（徳川家康の幼名）を人質に取り、家来に「むごい教育をせよ。」と命じた。

しばらくして、義元は竹千代にどのようなことをしているか家来に聞いたところ「朝は早くから起こし、三食粗末な食事を与え、昼は武道、夜は学問を休むことなくやらせております。」と答えた。すると義元は「すぐに止める。朝は起こさずにいつまでも寝かせておけ。食事はごちそうを好きなだけ与えてやれ。武術や学問は無理強いをするな。本人の望むことはなんでも与えてやれ。そうすれば大抵の人間はだめになる。」と命じた。

その後、義元の思惑通りにはならず、竹千代は織田家の人質となりました。もし、今川家の人質のままでしたら、もしかすると260年に及ぶ徳川幕府はなかったかもしれません。「むごい教育」とは、子どもを自由気ままにして我慢する心を奪い取ることだこのエピソードは語っております。

幼児センターで行う保育とご家庭の子育ては、その環境やアプローチの仕方はそれぞれ違うかもしれませんが、共通に目指すところはひとり立ちする力のもとを育むことです。乳児から年長児へ向かうに連れ、子どもの前には「苦手」「嫌い」「やりたくない」と感じるハードルが増えてきます。困っていると、つい大人が先回りしてハードルを避けたりしがちですが、そこはグッと我慢して見守り、自力で越えられた時に子どもと一緒に喜び合えるような関わりを大事にしていきたいものです。

あ～怖かった！でも退治した！！～節分の会

2日（金）に節分の会がありました。この日に向け、園児たちは鬼のお面を工夫して作ったり鬼の襲来に備えて手製の豆を用意したりしながら、行事への気持ちを高めてきました。そして、当日となり、午前10時を回った頃、恐ろしい形相の赤鬼がホールに乱入してきました。向かってきた鬼に対し、ある子は勇敢に豆をぶつけ、ある子は泣きながら逃げ回り、最後はみんなで協力して何とか鬼を退治することができました。めでたしめでたし。



節分の会～「いじわる鬼・泣きむし鬼・おこりんぼ鬼・ゲーム鬼…鬼は外！！」



…お願い…

- ◎進級・就学を意識した生活、活動をしています。時間を守ることの大切さを知らせるためにも、**8時30分までの登園時間をしっかり守り、時間に余裕をもって登園しましょう。**
- ◎今年度最後の納入日は3月5日(火)です。期日を守りましょう。
- ◎正面玄関前の駐車は園児が死角となり大変危険です。冬期間は降雪状況・除排雪の有無等でご不便をおかけしますがご面倒でも駐車場に停めるようご協力をお願いします。
- ◎登園、降園の際、雪山に登り遊んでいる園児を見かけます。雪山からの転落等、危険のない送迎をお願いいたします。また、屋根からの落雪に、引き続きご注意ください。



咳・くしゃみの時のエチケット

ウィルスは、感染している人の咳やくしゃみの飛まつに含まれていて、その飛まつが付着することで感染します。咳やくしゃみの症状があれば、以下のことに気をつけてウィルスを広げないようにしましょう！

- ★マスクを着用する（口・鼻を覆う）
- ★マスクがない時は、ハンカチやティッシュなどで口・鼻を覆う。とっさの時は、周りの人から顔をそらせ、袖で口・鼻を覆う。

◎また、受診をされた場合は、その状況についてお知らせください。症状等で不安がある場合は、登園前にご相談ください。



…進級・就学に向けて…

進級や就学を迎える時期、これからは環境変化に敏感な反応を示す子どもがいます。「ひとつお兄（姉）さんになる」という言葉が嬉しくもあり、時に辛くもあり…。そんな微妙な子ども心を理解して、表情や食欲、活気など子どもの様子に気をつけましょう。

一日進級を経験し、「自信と期待」でいっぱいの子どもたち！ 卒園・進級に向け残りわずかな日々を、友だちと過ごした思い出が心に残るように大切に過ごしたいと思います。